



中国労働金庫第10回通常総会開催

=すべての議案が承認される=



中国労働金庫の第10回通常総会が6月25日(火)13時より、臨時代議員ほか199会員(委任会員2,395会員、合計2,594会員)出席のもと、広島市のホテルグランヴィア広島において開催されました。

提案された議案(第1号議案~第5号議案)については、意見・質問なく全て承認されました。また、第3号議案「理事・監事の任期満了に伴う選任の件」は、役員立候補者全員が承認をされ、岩田学さん(日本郵政グループ労働組合松江支部)が県営業本部長(常勤理事)に就任しました。



岩田県営業本部長



発行/一般社団法人 島根県労働者福祉協議会
発行人/安田 充志
〒690-0007 松江市御手船場町 557-7
TEL 0852-23-3302 FAX 0852-23-3303
ホームページアドレス: http://shimane.rofuku.net/
Eメール: rofuku@gaea.ocn.ne.jp
発行月(6・10・1・3月発行)

中央労福協 第4回地方労福協会議開かる!! 生活底上げ・福祉強化月間(9月~11月)

2013年7月8日~9日、東京・明治大学紫紺館において「第4回地方労福協会議」が開催されました。その中で本月の取り組みが提案され、協議の結果、全国で「生活底上げ・福祉強化月間」を取り組むことが確認されました。

通常国会において「こどもの貧困対策推進法」が全会一致で設立したことは、貧困の連鎖が放置できない状況であることを国会が認識したことである。国をあげて実効的な貧困・格差対策に取り組むことが求められている。中央労福協は、9月~11月を「生活底上げ・福祉強化月間」として取り組み、地方労福協では、期間中、次の諸課題に取り組むことを確認した。

- 生活困窮者自立支援制度の構築(※)
 - 2015年度の本格稼働に向けて、自治体要請、協議・意見交換、情報収集等を行い、体制づくりの検討・準備に入る。
 - 生活困窮者支援団体とのネットワークづくり、労働問題にも対応できる体制づくり
 - ライフサポート活動等の周知広報、生活困窮者への相談・支援に対応できるレベルアップ等
- ナショナルミニマムの保障(生活保護基準の引き下げ等への対応)
 - 生活保護基準引き下げに伴う影響を最低限にとどめるよう自治体との協議、要請を行う。
 - 生活保護法改正に伴う、窓口での申請抑制や扶養義務強化を招かないよう自治体に対して適切な運用を求める。
- 協同組合の基盤強化
 - 地方連合会や事業団体との連携を強め、労働金庫、全労済等の基盤強化を図る取り組みを行う。
- 関係団体との連携
 - 生活困窮者支援制度の構築に関する取り組みについては、連合と調整し具体化を図る。連合の行なうSTOP THE 格差社会!暮らしの底上げキャンペーンにおいて、協力する。
 - 「反貧困全国キャラバン2013」は、従来通り各県の実情に応じて関わっていく。(キャラバンカー 島根県10/22~10/25 山口県~島根県~鳥取県)

生活困窮者自立支援制度

今年度通常国会において、三党(民・自・公)合意のもと上程されたこの法案が、参議院最終日の混乱で廃案となった。厚生労働省は今秋の臨時国会へ再上程し法律成立をめざし2015年度より施行したいとの意向である。既に今年度よりモデル事業として全国62自治体で実施されている(島根県も実施)。従前は「生活支援戦略」として検討されていた。「生活保護に至る前の段階で自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給、その他の支援を行うための所要の措置を講ずる」制度である。

この制度には必須事業として自立相談支援事業・住居確保給付金支給があり、任意事業として就労準備支援・就労訓練事業(中間的就労)、一時生活支援事業、家計相談支援事業、生活困窮家庭の子供の学習支援事業がある。

この制度は、幅広い事業であり一つの事業主体では実施できず、地域的ネットワークが必要となる。この制度の効果的な実施に向けて、各県労福協で行政、福祉団体、NPOなどとの協力・連携を図りこの月間のなかで構築しようというものである。

10月~12月 こくみん共済 推進キャンペーン中

おかげさまで こくみん共済は 30周年!

30th Anniversary

世代を超えて、安心をつなぐ。

こくみん共済

個人定期生命共済・子ども定期生命共済・終身定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

保障のことなら **全労済**
富利を目的としない保障の生協です

病気やけがの保障 **元気なお子さまの毎日を応援する保障。**

キッズワイドタイプ	キッズタイプ	加入できる方
月々の掛金 1,600円	月々の掛金 900円	満0歳~満14歳の健康な方 (最高満18歳の契約満了日まで保障)
2011年度の割り戻し金は* 250円/月(掛金の約15.6%)	2011年度の割り戻し金は* 140円/月(掛金の約15.5%)	★毎年5月末の決算で剰余が生じた場合、契約者に割り戻し金としてお戻ししています。また、割り戻し金は、毎年決算の5月末時点で有効契約がある方にお戻しします。 ※キッズワイドタイプ、キッズタイプ いずれか1つのみ加入できます。

■主な保障内容(キッズワイドタイプの場合)

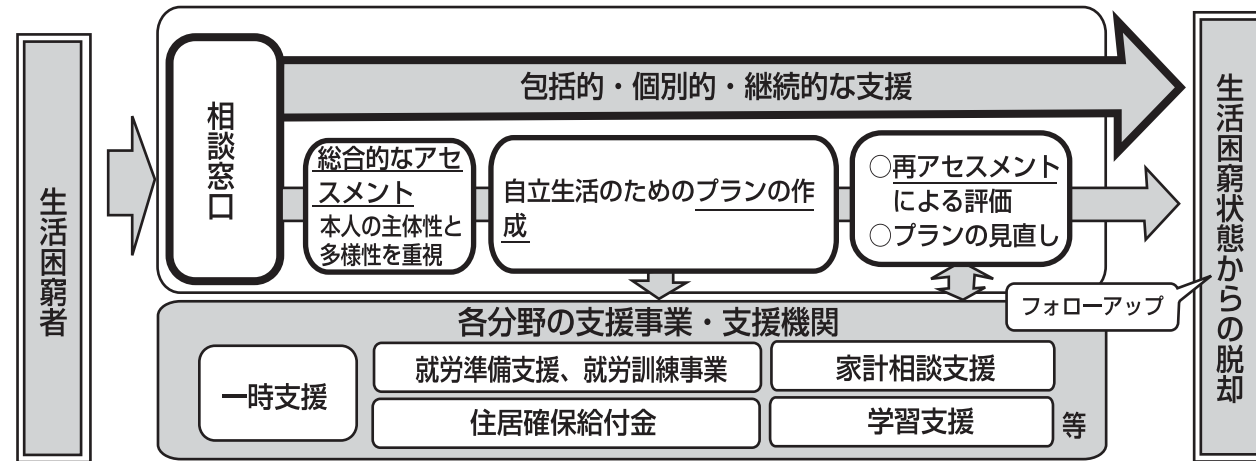
病気やけがで入院したとき	日額 10,000円
骨折・脱臼・関節の脱臼(1契約期間に1回)	65,000円
けがで通院したとき	日額 3,000円
第三者に対する損害賠償(国内のみ)	最高 100万円 (免責5,000円)

ご希望のコースをお選びいただけます。
コースごとに加入可能な年齢が異なります。詳しくは全労済までお問い合わせください。

中学入学準備コース	高校入学準備コース	大学入学準備コース
-----------	-----------	-----------

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。

自立相談支援事業



期待される効果

- 生活保護に至る前の段階から早期に支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を支援。
- 生活困窮者に対する相談支援機能の充実により、福祉事務所の負担軽減とともに、社会資源の活性化、地域全体の負担軽減が可能に。

(厚生労働省 生活困窮者自立支援室 提供)



ろうふくきょう

秋からの活動

介護職員初任者研修

2025年から「団塊の世代」が75歳に突入。家庭・地域や施設の介護に携わる人材養成を行います。

- とき：9月22日～2014年1月12日
- 場所：松江市 労働会館・ほほえみ
- 内容：介護職員初任者養成講座
- 講師：介護・医療現場の講師陣が中心
- 目的：旧さわやかなの事業継承し、資格取得による就労支援と高齢地域社会への貢献

ライフプランセミナー

退職後の年金、雇用保険、健保、税金等一回きちんと学び、退職後設計を早めに準備する40歳代からのあなたへの研修です。

- とき：浜田 11月10日(日) 10～12時
松江 12月 1日(日) 10～12時
- 場所：浜田会場「いわみーる」101研修室
松江会場「労働会館」401号室
- 参加費：無料 ○参加資格：どなたでも

高校生のための消費者講座(出前講座)

来春、社会人として旅立つ島根県下の高校3年生に対し、「新社会人のための消費者講座」を開催します。新社会人として「賢い消費者」になるために、学校教育段階から「ローンやクレジット」、悪徳商法などの「マネートラブル」のしくみを理解し、増え続ける「多重債務・自己破産」や「振り込み詐欺(オレオレ詐欺・架空請求)」の未然防止の観点から出前講座を実施します。(県下全高校へ案内文書送付済み、昨年度は15校1,860人受講)

ろうふくきょう「2013年度ライフプランセミナー」参加者募集中

どうなる公的年金!! 始めよう退職後生活への備え!

- 2013年 11月 10日(日)(浜田市：イワミール) 10:00～12:00 (先着 50名)
- 2013年 12月 1日(日)(松江市：労働会館) 10:00～12:00 (先着 100名)

講師 **菅野美和子** 先生 | 社会保険労務士、CFP

～公的年金はどうなるの? 知って得する退職後プラン、一緒に学びませんか!～
(詳しくは、労福協ホームページからアクセスしてください。)

参加費無料!!
個別相談あり

主催：一般社団法人島根県労働者福祉協議会 ☎0852-23-3302 FAX0852-23-3303

西部労福協 労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座

これまで中央労福協主催の研修会として実施されてきた本研修会は、本年度よりブロック主催となり、2013年8月23日～24日にかけて岡山市において開催されました。島根県労福協からは、門脇直人さん(連合島根)、斉木宏文さん(労金出雲支店)、吉野賢二郎さん(労済西部支所)の三人が参加しました。



講座カリキュラム

- (1)「労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史」～中央労福協アドバイザー 高橋均先生
- (2)「日本社会と協同組織事業に期待するところ -危機の時代の“もの見方考え方”と“惜福の経済”-」～早稲田大学教授 経済学博士 田村 正勝 先生
- (3)「労働運動・労福協運動が地域社会に果たすべき役割」～日本女子大学 名誉教授 高木 郁朗 先生
- (4)グループに分かれた分科会 3講義についての話し合い

田村先生からは、経済指標をもとに、企業の純利益、配当金と従業員人件費の推移について報告があり、2000年度を100とした場合、2011年度の企業純利益246、株主配当は226に対して従業員人件費は99であり、企業は株主配当が優先し人件費は改善していないことが報告された。さらに、この間、正社員を非正社員に置き換えるリストラが進み、このことが格差社会・貧困世帯が増加している要因であると指摘された。

また、TPPへの参加により、「共済保険」には「保険業法」の適用が要求され、全労済の「こくみん共済」、また「県民共済」等相互扶助の共済制度の解放を要求されることになるとの見通しが示された。

ピースナイター2013(島根県生協連)

☆平和と核廃絶の願いをこめた、「ピースナイター2013」原爆の日・8月6日開催
今年のピースナイターは広島・福島・静岡 3球場で同時開催

核兵器廃絶や世界平和への願いを発信するために始まった「ピースナイター」は今年で6回目。今年は8月6日にピース・復興ナイターとして、広島マツダスタジアム以外に、静岡県の浜松球場(中日対ヤクルト)、福島県の開成山球場(DeNA対巨人)の3球場で開催されました。

広島マツダスタジアムで開催された「広島-阪神」戦には、島根県生協連・会員生協の組合員・家族、役職員155名が参加をしました。試合は、黙祷が行われた後、被爆2世で歌手・俳優の吉川晃司さんの始球式で始まり、5回終了後、背番号8・6番の吉川さんが平和を願うジョン・レノンの「イマジン」を独唱し、スタンドは緑と赤の「ピースポスター」でピースラインをつくり、核兵器廃絶、そして、平和の大切さをアピールした一日となりました。試合は、1対0で広島が勝利をしました。

……全国へと着実に引継がれることを願い……

これまでは2011年に漫画「はだしのゲン」の作者・故中沢啓治さん、2012年に被爆者で野球解説者の張本勲さんが始球式をし、核兵器のない世界の実現を願った。広島から発信し続けられるメッセージは、全国へと着実に受け継がれている。

